

## 令和元年第2回定例会 12月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

### 発言順位

#### 12月5日(木)

- (1) 吉田 秀夫 議員 (フォーラム明石) …… P 2
- (2) 森 勝子 // (維新の会) …… P 4
- (3) 丸谷 聡子 // (未来明石) …… P 5
- (4) 三好 宏 // (自民党 真誠会) …… P 7
- (5) 松井 久美子 // (公明党) …… P 9
- (6) 竹内 きよ子 // (フォーラム明石) …… P10
- (7) 筒泉 寿一 // (維新の会) …… P12
- (8) 寺井 吉広 // (自民党 真誠会) …… P14

#### 12月6日(金)

- (9) 梅田 宏希 // (公明党) …… P15
- (10) 林 丸美 // (フォーラム明石) …… P17
- (11) 北川 貴則 // (維新の会) …… P18
- (12) 井藤 圭順 // (自民党 真誠会) …… P20
- (13) 国出 拓志 // (公明党) …… P22
- (14) 坂口 光男 // (自民党 真誠会) …… P23
- (15) 尾倉 あき子 // (公明党) …… P24
- (16) 辰巳 浩司 // (自民党 真誠会) …… P25

#### 12月9日(月)

- (17) 飯田 伸子 // (公明党) …… P26
- (18) 石井 宏法 // (自民党 真誠会) …… P27
- (19) 佐々木 敏 // (公明党) …… P28
- (20) 千住 啓介 // (自民党 真誠会) …… P30
- (21) 楠本 美紀 // (日本共産党) …… P31
- (22) 家根谷 敦子 // (スマイル会) …… P33
- (23) 辻本 達也 // (日本共産党) …… P34

※ 順位については予定です。

発言順位	1	議員名	吉田 秀夫（フォーラム明石）
発言事項	<p><b>1 市役所新庁舎の整備について</b></p> <p>(1) 市役所新庁舎整備場所と今後の方針について  (要旨) 9月議会における「市役所新庁舎整備候補地に関する決議」は、議会の総意として整備場所を「現在地」とすることを了とし、予算執行権を持つ市長が整備場所を決定するとともに、全庁を挙げて早急に新庁舎整備に取り組むことを求めたものである。  市長はこの決議を受けて、その後、整備場所を決定したのか、その考えと今後の整備方針を問う。</p> <p><b>2 地球温暖化対策について</b></p> <p>(1) 再生可能エネルギーについて  (要旨) 市は、事業者として率先して再生可能エネルギーの導入を進め、再エネ比率の向上に貢献すべきだと考えるが、本市の公共施設や公共用地における今後の再生可能エネルギーの活用方針はどのようなものか。</p> <p>(2) ごみ分別の現況について  (要旨) 温室効果ガス排出の削減には、焼却ごみの減量化を図ることも有効と考える。そのためには、ごみ分別の徹底が必要と考えるが、ごみ分別の現状に対する認識と具体的な取り組み状況、及び分別により得られた効果はどのようなものか。</p> <p>(3) 気候非常事態宣言について  (要旨) 地球規模で発生している気候変動の現状やその危機を、全庁を挙げて市民に周知し、認識を共有するため、気候非常事態宣言を表明するとともに、気候変動に対する取り組みを強化してはどうか。</p> <p><b>3 公契約条例について</b></p> <p>(1) 公契約条例に係るこれまでの調査・研究の状況について  (要旨) 公契約条例については、他の自治体の取り組み状況を調査・研究し、検討していくということであったが、現在の状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 価格重視の競争入札制度の推進による弊害について  (要旨) 公共サービスの業務委託先が価格重視の競争入札制度の下で進められた結果、公共サービス担い手の雇用不安、賃金労働条件の劣悪化などにつながり、公共サービスの質の低下や、いわゆる官製ワーキングプアを生じさせているのではないか。</p>		

発言順位	1	議員名	吉田 秀夫 (フォーラム明石)
発言事項	<p>(3) 公契約条例検討委員会の設置について  (要旨) 公正公平で透明性の高い契約を通じて、地域経済の活性化と労働者の適正な労働条件が確保されることを目的とした公契約条例の制定を目指し、検討委員会を設置しないか。</p>		
	<p><b>4 明石市職員の精神疾患の発生状況と対応・対策について</b></p> <p>(1) 本市職員の精神疾患の発生状況について  (要旨) 2017～19年度の発生件数、私療養休暇の取得日数について、部局別・年齢別ではどのような状況か。また、1件あたりの平均療養日数は。</p> <p>(2) 精神疾患の発生と業務・職場環境との関係について  (要旨) 精神疾患は、長時間労働・多すぎる仕事量・職場内でのハラスメントや人間関係など、業務・職場環境に起因するものが多いと思われるが、実態はどうか。また、精神疾患の発生の原因をどのように分析しているのか。</p> <p>(3) 精神疾患を未然に防止するための取り組みについて  (要旨) 本人の意思を尊重することを基本として、業務量の軽減、人員増、担当業務の変更、異動など、可能な対応を速やかに行うことが必要と考える。</p> <p>(4) 精神疾患による療養休暇から職場に復帰する際の支援策について  (要旨) リハビリ勤務などに加え、一定期間は在宅勤務制度を導入するなど、支援策のさらなる拡充が望まれる。</p> <p>(5) 今後の取り組みに対する考えについて  (要旨) すべての職員が、健康で、持てる能力を最大限に発揮し、市民サービスにまい進できる環境づくりが必要と考える。</p>		

発言順位	2	議員名	森 勝子 (維新の会)
発 言 事 項	<b>1 台風の大型化による災害対策</b>		
	(1) 明石川の氾濫水害対策について (要旨) 本年の台風19号により、全国で甚大な水害が発生しました。明石川における水害対策をお聞かせください。		
	(2) 船上浄化センターや明石川浄水場等の高潮を想定した水害対策について (要旨) 昨年の台風21号の近畿での高潮被害を踏まえ、本市では上下水道について甚大な水害への対策はされていますか。		
	(3) 合流式下水道の水害対策について (要旨) 本年の台風19号で神奈川県川崎市中原区、高津区で発生した大規模浸水を教訓に、本市の下水道を合流式から分流式に切り替えるべきではないでしょうか。		
<b>2 市役所新庁舎整備について</b>			
(1) 市役所新庁舎の姿について (要旨) 新庁舎のあるべき姿、災害面、機能面について、本市の見解をお聞かせください。			
(2) 50年後の市民サービスのあり方について (要旨) 時代とともに変化していく市民、地域のニーズに合わせて柔軟な対応を可能とするため、生活関連施設が徒歩や自転車圏内に整備される「ミニあかし構想」を考えておられますが、今現在どのような規模の庁舎を計画されていますか。			
<b>3 シティブランド・ランキングー住みよい街2019ーについて</b>			
(1) 住みよい街の評価について (要旨) 日経BP総研が、全国の働く世代2万人を対象に8分野32項目について「住みよさ」をたずねたアンケートを実施し、明石市は37位でした。泉市長は、明石市を住みよい街として、どのような自己評価をしていますか。			
(2) より住みよい街にする取り組みについて (要旨) 今後、より住みよい街にしていくために、どんな施策に力を入れていくつもりですか。			
<b>4 あかし動物センターについて</b>			
(1) 殺処分ゼロへの取り組みについて (要旨) いつになったら殺処分ゼロになるのでしょうか。			

発言順位	3	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p><b>1 気候変動に対する取り組みについて</b></p> <p>(1) 気候変動による気象災害対策について  (要旨) 昨今の大型化する台風被害など、気候変動による災害について、本市の対策は十分にできているのか。避難所等での長期にわたる停電など、今後起こりうる被害へのリスクについてどのように認識し、対策を講じるのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 気候非常事態宣言の表明について  (要旨) SDG s 未来安心都市を目指す本市において、SDG s の目標 13「気候変動に具体的な対策を」を推進するために、「気候非常事態宣言」を表明し、地球温暖化・再生可能エネルギー対策に積極的に取り組んではどうか、市の見解を問う。</p> <p><b>2 明石市コミュニティバス（たこバス）について</b></p> <p>(1) コミュニティバス（たこバス）の現状について  (要旨) このたび、西江井ヶ島ルートにおいて運行事業者である山陽バスが撤退するなど、たこバスの存続が心配される事態が発生した。他の路線においては大丈夫なのか。コミュニティバス事業は持続可能な状況になっているのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) コミュニティバス（たこバス）の今後のあり方について  (要旨) 高齢化が進む中、コミュニティバスがさらに重要な役割を担うことになると考えるが、社会の変化に応じた人件費等の見直しや、事業計画の改善等が必要ではないか。今後のあり方について市の見解を問う。</p> <p><b>3 市内の学校における男女混合名簿の使用について</b></p> <p>(1) 市内の学校の現状について  (要旨) 市立の小・中学校、明石商業高等学校における男女混合名簿の使用状況について、現状を問う。</p> <p>(2) 男女混合名簿の使用について  (要旨) 日本国憲法に個人の尊重と法の下での平等がうたわれ、学校ではLGBTなどの性的マイノリティの児童生徒への配慮等、男女平等教育が進められている。また、兵庫県内でも多くの学校が男女混合名簿を導入していることから、本市も教育委員会の方針として、市内全ての学校で男女混合名簿使用に取り組むべきであると考え、市の見解を問う。</p>		

発言順位	3	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p><b>4 新幹線車両基地の課題認識について</b></p> <p>(1) マスコミで報道されている内容に対する見解について  (要旨) マスコミで報道されている新幹線車両基地や新駅開発について、JR西日本とどのような話し合いが行われてきたのか。また、本市としてどのように対応しようと考えているのか、見解を問う。</p> <p>(2) 大規模な新幹線車両基地整備に対する課題認識について  (要旨) 騒音による健康被害や住環境の悪化、治水等の防災面の弱体化、自然環境破壊による生物多様性の断絶、農業政策の後退、食料自給率の低下など、多くの課題が想定される。これは、本市が推進しようとしているSDGsの考え方とは相反する方向性であると考えますが、このようなさまざまな課題に対する市の認識を問う。</p>		

発言順位	4	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 工場立地法に基づく緑地面積率の緩和について</b></p> <p>(1) 工場立地法に基づく緑地面積率の緩和について  (要旨) 高度経済成長に伴う公害の防止に加え、企業の社会的責任として、周辺環境との調和を保ち環境への注意義務を果たすことを目的に、緑地面積率の基準を定めた工場立地法が昭和48年に制定された。</p> <p>法の施行により、工場の緑地面積率は施行前の2倍以上に改善するなど一定の効果は認められたものの、公害防止技術の進歩や地域の実情に合った緑地整備の要請があり、平成9年の改正において、自治体が独自に条例を制定することにより、基準を緩和することが可能となっているが、現在、本市では条例は制定していない。</p> <p>緑地面積率を緩和することにより、企業の生産力の向上に加え、新規事業の誘致、雇用の促進、固定資産税の増加が見込まれることから、持続可能な社会の実現のためにも、条例により基準を緩和するべきだと考える。</p> <p><b>2 統合型校務支援システムの導入について</b></p> <p>(1) 統合型校務支援システムの導入について  (要旨) 近年、教職員の多忙化が深刻化しており、学校の働き方改革が喫緊の課題になっている。学校現場における業務改善について、文部科学省は校務の情報化の推進を掲げ、校務支援システムの導入を促している。</p> <p>統合型校務支援システムは、その活用による業務の効率化などで、教員の仕事の質的転換による学校の働き方改革や、教員が児童生徒に必要な総合的な指導を持続的に行うことに寄与すると期待されているが、本市では、まだ導入されていない。</p> <p>統合型校務支援システムの導入に向けて、今後の方針を聞く。</p>		

(代表質問)

発言順位	4	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>3 学校給食における地産地消と食育の推進について</b></p> <p>(1) 学校給食における地産地消と食育の推進について</p> <p>(要旨) 近年、農水産物に対する消費者の安全・安心志向の高まりや、生産者の販売方法が多様化する中で、地産地消への関心が高まり、需要が拡大している。</p> <p>本市の学校給食においても積極的に地元の食材を活用しているようだが、その現状と課題、今後の取り組みを聞く。</p> <p>また、郷土の歴史や文化を学ぶとともに、郷土の食を意識した教育、いわゆる「食育」は、どのように進められているのか。課題と今後の取り組みを聞く。</p>		

発言順位	5	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p><b>1 「議案第49号 明石市本のまち基金条例制定のこと」について</b></p> <p>(1) 条例制定に至った経緯と条例の概要について (要旨) 条例制定に至った経緯と条例の概要について聞く。</p> <p>(2) 条例の周知について (要旨) 本のまちの推進に当たって基金が設けられることは、大変意義のあることであるため、市民や各種団体等に本条例の趣旨をしっかりと周知していただきたい。</p> <p><b>2 就職氷河期世代の活躍の支援について</b></p> <p>(1) 就職氷河期世代に対する認識について (要旨) 就職氷河期世代とは、1993～2004年に学校卒業の時期を迎えた世代であるが、就職難のため正規雇用を希望しながら非正規雇用等で働いている人について、市としてどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 国における就職氷河期世代への支援開始を受けた、市としての取り組みについて (要旨) 市役所職員としての採用、及び市内の民間事業所との連携による支援体制の構築を。</p> <p><b>3 先進事例の視察等調査研究への補助等について</b></p> <p>(1) 先進事例の視察等調査研究への補助の内容と成果について (要旨) 市制施行100周年を契機として、市内事業者等が国内の先進的な事業を視察するための費用を一部補助する事業が実施されたが、本年6月から実施した内容と成果はどうであったか。</p> <p>(2) 市内の地場産業に取り組む若者や女性へのさらなる支援を。 (要旨) 市内では、後継者不足のために事業の存続ができない事業者が増加傾向にある。本市産業のさらなる発展を目指すためには、地場産業に取り組む若者や女性へのより一層の支援が必要である。</p>		

発言順位	6	議員名	竹内 きよ子（フォーラム明石）
発言事項	<p><b>1 未来ある子どもたちが心豊かにのびのび学校生活を送ることができる環境整備について</b></p> <p>(1) 小学校・特別支援学校の校舎・プールの老朽化について  (要旨) 子どもたちが安心して学校生活を送れるように、早急に改善する必要があるが、今現在どのような状況になっているのか。見解をお聞きします。</p> <p>(2) 小学校・中学校のバリアフリー化について  (要旨) エレベーターの全校設置が予定されているが、現在どのような状況になっているのか。また、今後の対応について、見解をお聞きします。</p> <p>(3) 熱中症対策について  (要旨) 夏休み期間が短くなる中、残暑も厳しい9月に体育大会などの行事が行われてきたが、その際の熱中症などの発生状況と予防対策をお聞きします。</p> <p>(4) ICTを活用した授業について  (要旨) 教室にパソコン、電子黒板、プロジェクターなどの電子機器を導入し、子どもたちによりわかりやすい授業を提供するため、ICT支援員の配置を検討してはどうか。</p> <p>(5) 統合型校務支援システムの導入について  (要旨) 学校現場を支援するための最重要課題である統合型校務支援システムについて、教育委員会が先導的役割を担い、早急な実現に向け取り組む必要があると考えます。</p> <p><b>2 いじめ問題の撲滅に向けて</b></p> <p>(1) 小学校・中学校におけるいじめの認知件数と内容について  (要旨) 学校においては、どのような問題も見逃さない措置を取るべきであるが、どのような状況か。</p> <p>(2) いじめを見抜く力を高めるための取り組み、及び家庭との連携や地域での役割について  (要旨) いじめの未然防止や早期発見のために、教師間のいじめも含め教師がいじめを見抜く力や、家族・地域との連携など、教師力のアップが不可欠である。教育委員会では、どのように対策を進めていくのか。</p> <p>(3) 生徒指導相談員やスクールソーシャルワーカーの増員について  (要旨) 教育相談体制や生徒指導體制を強化するために、教師以外の力が必要である。いじめ対策の軸となる生徒指導相談員やスクールソーシャルワーカーの増員が必要と考えるが、見解をお聞きします。</p>		

発言順位	6	議員名	竹内 きよ子（フォーラム明石）
発言事項	<p>(4) いじめ被害者がひとりでも相談できる第三者機関の設置について  (要旨) いじめは、発見してすぐ対応することが大切である。迅速に対応できる体制として相談窓口の設置を検討してみてはどうか。</p> <p><b>3 大久保地域の交通政策について</b></p> <p>(1) 大久保地域の人口増加と国道や県道の渋滞常態化について  (要旨) J T跡地の開発による交通量増加の影響を見据え、十分な幅員が確保されていない周辺道路の安全対策を早急にしていかなければ、自転車や歩行者の通行が危険である。</p> <p>(2) 大久保地域の都市計画道路の認識と進捗状況について  (要旨) 西明石から大久保間の交通渋滞は、都市計画道路の部分開通や未着工が原因であると認識しているが、江井ヶ島松陰新田線などの整備の進捗状況はどうなっているのか。</p>		

発言順位	7	議員名	筒 泉 寿 一 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<b>1 CO<sub>2</sub>削減について</b>		
	(1) 海水温、気温上昇について (要旨) 海水温上昇、気温上昇により、普段いないはずの熱帯魚が瀬戸内海、大阪湾周辺にも存在しているようだが、明石の水産業にも影響が出てくるのではないか。市の見解を問う。		
	(2) プラスチックごみ削減について (要旨) プラスチックが体内に取り込まれると身体にも異常を来すと言われている。民間企業が紙ストローの利用を進めている中、本市でも積極的かつ迅速に対策を行う必要がある。市の見解を問う。		
	(3) タバコのポイ捨て取り締まり強化について (要旨) タバコのフィルターはプラスチックでできており、ポイ捨てがふえることで有害物質が広がり、環境汚染の原因となる。市の見解を問う。		
<b>2 観光振興について</b>			
(1) 関西国際空港への高速船について (要旨) 関西国際空港から明石港へのアクセス環境を作ることにより、観光客の増加につながる。市の見解を問う。			
(2) 訪日観光客の受け入れについて (要旨) 訪日観光客が増加することにより、市内経済を担う明石の中小企業の活性化にもつながる。市の見解を問う。			
(3) 明石の海辺を活用した地場産業の育成について (要旨) 明石の海辺に木製の子ども向けの憩いの場を作ることによって、子どもたちが集まる観光地ができる。また、その材料として、材木の品質を均一化するために成長途中で伐採され、廃棄される間伐材を使用することで、環境にも優しい施設とすることができると考えるが、市の見解を問う。			
<b>3 成人式について</b>			
(1) 運営内容について (要旨) 来年度の運営内容はどのようなものか。また、新成人からの企画・運営上の新たな要望等について問う。			
<b>4 天文科学館の年始開館について</b>			
(1) 年始開館について (要旨) 年始開館もすっかり定着したが、時のまちのシンボルである天文科学館のこれまでの正月開館の成果は。また、市制施行100周年を機に今後どのように行われるのか。取り組み状況もあわせて聞く。			

発言順位	7	議員名	筒 泉 寿 一 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p><b>5 市民病院について</b></p> <p>(1) 今後の運営について</p> <p>(要旨) 医療の高度化が進む中、30万都市の中核病院としてふさわしい姿が示されることを願う。今後の取り組みについて聞く。</p>		

発言順位	8	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 市街化調整区域等の有効な土地活用と線引きのあり方について</b></p> <p>(1) 市街化調整区域の市街化区域への編入等について  (要旨) 一定規模の市街化区域を有する本市としては、市街化調整区域として開発が制限されている地域を市街化区域に編入するなど、市内の土地利用の見直しを行うことで、農業に過度に依存することなく、さらなるまちの開発の可能性を見出す時期に来ていると考えるが、どうか。</p> <p>(2) JR新駅、新幹線車両基地整備に対する市の見解について  (要旨) 基地の候補地とされた地域から、まちの活性化につながるものとして歓迎の声もあがっているが、市の今後の取り組みはどうか。</p> <p><b>2 ひとり親家庭の自立と支援について</b></p> <p>(1) ひとり親家庭の支援について  (要旨) 本市のひとり親家庭の現状はどうか。また、ひとり親家庭の生活の安定と自立に向けて、子育て支援や生計維持、就労など、生活を総合的に捉えた、きめ細かな支援が必要だと考えるが、どうか。</p> <p>(2) 養育費確保の支援策について  (要旨) 本市では、養育費確保のためのさまざまな支援策を実施している。令和元年5月10日に成立した民事執行法の改正に合わせて、今後、支援策のさらなる拡充を図ろうとしているが、その内容について問う。</p>		

発言順位	9	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p><b>1 子どもを核とした教育環境の整備について</b></p>		
	<p>(1) 子どもと向き合う時間確保と統合型校務支援システムについて  (要旨) 平成29年から5回にわたり、システムの導入について本会議質問を行い、こどもを核としたまちづくりの観点から、児童生徒と向き合う時間確保のための教師の働き方改革を訴えてきました。システム導入は、最も効果のある取り組みであると考えますが、認識をお答えください。</p> <p>(2) 統合型校務支援システムの活用範囲について  (要旨) システムは、全小中学校、教育委員会、給食センター等の関係部局をネットワーク化することで最大の効果を発揮します。本市は、後発導入のメリットを生かして活用範囲を広げていただきたいと思います。考えをお答えください。</p> <p>(3) 統合型校務支援システムの導入時期について  (要旨) 県下29市12町で未導入の自治体は、本市を含め4団体になりました。東播磨地域では本市のみです。今後の導入スケジュールについて、導入検討会、業者選定、運用研修会、施行時期等、できるだけ詳細にお答えください。</p>		
	<p><b>2 動物と共生するまちづくりについて</b></p>		
	<p>(1) あかし動物センター開設後の成果について  (要旨) 開設から1年10カ月が経過し、本市らしさが現れているのではないかと考えます。目標、犬、猫の受け入れ数、譲渡数、殺処分数、殺処分率等の数値を含め、これまでの評価についてお答えください。</p> <p>(2) あかし動物センター連絡会議の評価について  (要旨) あかし動物センター運営に直接的に関わる運営会議の設置を訴えてきましたが、本市は、関係団体がそれぞれの立場から意見交換する形の連絡会議方式で運営してきました。市民に開かれ、地域に寄り添うセンターとして機能してきたのか。センター運営の評価についてお答えください。</p> <p>(3) あかし動物センター所長の募集について  (要旨) このたび、センター所長を公募することにしてはいますが、本市の目指す動物と共生するまちづくりの観点から、どのような人材を求めているのか。募集の要件と求める所長像についてお答えください。</p>		

発言順位	9	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>(4) (仮称)あかし動物愛護条例の制定について  (要旨)本市の動物行政のあるべき姿を示すためには、(仮称)あかし動物愛護条例の制定が必要であります。条例検討委員会の設置、条例制定の時期についてお答えください。</p> <p><b>3 明石市の産業振興と工場立地法について</b></p> <p>(1) 工場立地法の改正について  (要旨)工場立地法は、高度成長期における公害を防止するため、企業の周辺環境への配慮義務が盛り込まれ、昭和48年に施行されました。それ以降、工場の緑地面積率は20%と高いまま維持され、現在に至っています。現在は、公害防止技術の進歩や企業努力により典型7公害は解消し、法律制定の目的は達成されましたが、緑地面積率が設備投資の足かせになっています。地域の実情に合わせるため、平成9年に法改正が行われ、自治体ごとに条例制定により基準の緩和が可能になりました。本市においては緩和されていませんが、その理由をお答えください。</p> <p>(2) 工場立地法における緑地面積率と近隣自治体との比較について  (要旨)近隣自治体では、平成20年頃から地域の実情に合わせて緑地面積率を緩和するための条例制定を進めています。令和元年9月現在、神戸市、姫路市、尼崎市をはじめ13自治体で緩和が進められ、隣接の播磨町では、工場立地特例対象区域において1%まで緩和しています。明石市は20%のままであり、製造業発展の著しい阻害要因になっています。雇用促進、産業振興の観点から、近隣自治体との整合性について、どのように認識しているのか、お答えください。</p> <p>(3) 工場立地法における「敷地外緑地制度」の活用について  (要旨)緑地面積率は、事業拡張の最大の障害になっています。特に、法施行前の既存事業所などは、事業拡張や老朽施設の建てかえ、福利厚生等により設備投資をしようにも、緑地面積率が壁になり、市外転出以外の解決策がない現状です。そこで、緑地面積基準が達成できない場合の打開策として、緑地面積率の緩和とあわせて、「敷地外緑地制度」を活用して本市の製造業支援に努めるべきです。</p>		

発言順位	10	議員名	林 丸 美 (フォーラム明石)
発 言 事 項	<p><b>1 LGBT (性的マイノリティ) の人権問題について</b></p> <p>(1) 本市の取り組みについて  (要旨) 9月議会で、本市において来年度にも同性パートナーシップ証明制度を導入する方針が示された。制度を導入するに当たり、LGBTの人権問題について職員・市民への理解・浸透を図ることが必要と考えるが、今後の市の取り組みについて問う。</p> <p>(2) 教育現場での取り組みについて  (要旨) 13人に1人がLGBTであるという調査結果にもあるように、ごく身近な事象であるにも関わらず、教育現場での理解が、まだまだ進んでいないのが現状である。本市の教育現場でもLGBTの人権問題について取り組む必要があると考えるが、市の見解について問う。</p> <p><b>2 駅前喫煙所について</b></p> <p>(1) 駅に設置された喫煙所の改善、再整備について  (要旨) 駅前の分煙化が進められ、多くの喫煙者がマナーを守っているにも関わらず、煙・においに関する苦情が絶えない。  煙・においが漏れ出てしまう現在の喫煙所の構造そのものに問題があるため、早急な改善、再整備を求める。</p>		

発言順位	11	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p><b>1 福祉の充実について</b></p> <p>(1) 特別養護老人ホームの待機者解消について  (要旨) 特別養護老人ホームは、重度の要介護者の長期入所に対応できる施設として需要が高く、待機者数は右肩上がりです。待機者の状況と解消に向けた取り組みをお聞かせください。</p> <p>(2) 保育所の待機児童ゼロについて  (要旨) 本市では一体いつになったら、保育所の待機児童がゼロになるのでしょうか、お聞かせください。</p> <p>(3) 生活保護事業への対応について  (要旨) 職員体制が限界を迎えると本来の業務に支障を来します。体制は十分でしょうか。きめ細かな取り組みは不可欠です。現状と新たな組織体制、保護費の紛失の再発防止に向けた取り組みをお聞かせください。</p> <p>(4) 虐待防止と産後ケアについて  (要旨) おむつの宅配報道に疑問を抱きました。本市の産後ケアは十分機能しているのでしょうか。産後は育児での孤立や精神的に不安定になったりすることがあるため、ケアは必要です。また、訪問は、ネグレクトや命に関わる虐待を防止する手段として有効であると思いますが、単におむつなどの物品を無料で配ることが目的になっては本末転倒です。また、面会を拒否された場合でも対応するシステムはあるのでしょうか。現状と今後の展開をお聞かせください。</p> <p><b>2 魚のまち明石の海産資源について</b></p> <p>(1) 漁獲量の減少について  (要旨) 明石の海産物は本市の大きな宝物です。経済効果のみならず、全国から注目される貴重な資産でもあります。決して我々の世代で絶やしてはいけませんが、近年、漁獲量が減少していることを聞きました。本市の見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	11	議員名	北川 貴則(維新の会)
発言事項	<b>3 JR朝霧駅前への市役所窓口機能の整備について</b>		
	<p>(1) 東の玄関口・JR朝霧駅前への市役所窓口機能の整備について  (要旨) 新庁舎建設に向け準備が進んでいる今こそ、費用対効果、利便性向上の意味でも、それぞれの地域において身近な場所で市民サービスを提供できる体制を整えることが有効ではないでしょうか。交通体系の再構築も促せます。東の玄関口・JR朝霧駅前にも市役所の窓口機能を整備すれば、集客施設も併設できるうえ、民間活力でのベッタウン構想も起こるかもしれません。それにより東部エリアのまちづくりが推進され、人口増にもつながるのではないのでしょうか。見解をお聞かせください。</p>		
発言事項	<b>4 高校生議会でのSDGsの提案について</b>		
	<p>(1) SDGsについて  (要旨) SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。誰もが暮らしやすい社会を目指す本市の取り組みをお聞かせください。</p>		
	<p>(2) 学校の名簿について  (要旨) 11月に開催した高校生議会において、SDGsのゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」をテーマに話し合った高校生から、学校における名簿を男女混合にしてはどうかとの提言がありました。市内の公立高校で男女混合名簿でないのは明石商業高等学校だけということですが、市の見解をお聞かせください。</p>		
	<p>(3) 学校の制服について  (要旨) 市内の高校において、男女を問わず好きな制服を選べるようにしてはどうかとの提言もありました。どんな制服を選択したとしても、何ら学業への専念には支障がないのではないかと思います。男女区分のない制服の導入も含め、制服を自由に選べることに對する見解をお聞かせください。</p>		
発言事項	<p>(4) ためらわずAEDが使用できるシートについて</p>		
	<p>(要旨) ある大阪の女子高生が救命のためのアイデアを競うコンテストで、着衣がはだけた様子を他の人に見られずにAEDの使用ができるシートを考案されていたそうです。女性に対するAEDの使用率を向上させるため、あらかじめシートをAEDケースに格納しておいてはどうでしょうか。本市の見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	12	議員名	井藤圭順(自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 待機児童対策について</b></p>		
	<p>(1) 次年度以降の新設園と保育士確保について  (要旨) 本市は、平成30年4月1日時点で571人の待機児童が発生しており、大規模園の新設など2,000人規模の受け入れ枠の拡充を行ったが、平成31年4月1日時点で412人であった。次年度以降に向けた待機児童対策と保育士確保について、本市の対応を聞く。</p> <p>(2) 市立幼稚園の預かり保育とお弁当のデリバリーについて  (要旨) 市内の待機児童は0・1・2歳児が多く、小規模保育園が増加傾向にある中、小規模保育園からの3歳以降の児童の受け入れ先が市立幼稚園の預かり保育になっている。また、来年9月には、希望者にお弁当のデリバリーが予定されるなど、市内の幼稚園での対応が多様化しているが、保育の質やお弁当の配膳、誤食によるアレルギー対応など、安全面の確保ができているか、本市の対応を聞く。</p>		
発言事項	<p><b>2 小・中学生の安全対策について</b></p>		
	<p>(1) ICTを活用した小学生の登下校の見守りについて  (要旨) 登下校時の小学生が連れ去られる事件や犯罪被害が多いことから、市内の小学生のランドセルにGPS付きのICタグを携帯させてはどうか。子どもたちの安全な登下校につながることに加え、メール配信があることで保護者も安心でき、犯罪の抑止力になると考えるが、市の見解を聞く。</p>		
	<p>(2) 小学校の警備員の増員について  (要旨) 現在、小学校の警備は、常駐の警備員1人と防犯カメラで対応している。学校の規模によっては、とても1人では対応できず、決して安心・安全な環境ではないと考える。防犯カメラでの監視による安全の確保と財政負担の軽減のため警備員が2人から1人に削減されたが、以前のように2人体制に戻してはどうか、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 中学校の防犯カメラ設置について  (要旨) 今年7月、早朝に市内の中学校に不審者が侵入する事件が発生した。幸い生徒の登校前に発見することができ、大事には至らなかったが、他にも不審者の侵入の事例があったと聞いている。小学校に設置されている防犯カメラを中学校にも設置することにより不審者の侵入の抑止力になると考えるが、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	12	議員名	井 藤 圭 順 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p><b>3 伝統・文化の教育について</b></p> <p>(1) 伝統・文化の教育について</p> <p>(要旨) 本年は、本市の子どもたちが市制施行100周年・明石城築城400周年の記念事業を通じて歴史と伝統、文化に触れることができた1年だったと考える。京都市では、市立の小・中学校の子どもたちが、伝統文化の体験を通じて礼儀などを身に付けることを目的に道徳や総合学習の時間を活用し茶道と華道を学んでいる。京都市と同様に、市内の小・中学校に講師を派遣して、子どもたちに伝統と文化の教育をしてはどうか、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	13	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<b>1 防災・減災対策について</b>		
	<p>(1) 総合安全対策室を総合安全対策局にしないか。  (要旨) より大きな権限と予算の配分、さらには人員の確保等々、平時から、防災・減災関係、さらには防犯等において、独立した立ち位置で横断的な権限を持つ「局」としてはどうか。</p> <p>(2) 自主防災組織に防災士を育成配置しないか。  (要旨) 常日頃から地域のことを熟知し、いざというときも地域の自主防災組織のリーダーの補佐ができる防災士の役割は大きいと考えます。市の見解を問います。</p> <p>(3) 小中学校の防災教育について  (要旨) 子どもたちに対する防災・減災教育が家庭・地域に普及していくことが大切です。現在、市として具体的にどのような教育をしているのか。また、その成果はどのような形で表れているのでしょうか。学校によって差があるようにも聞いていますが、今後の対応や計画についてお答えください。</p> <p>(4) 内水氾濫のハザードマップについて  (要旨) 想定される内水氾濫の危険範囲にある地域の方にはどのような周知徹底をされているのでしょうか。また、その対策については、どのように考えておられるのでしょうか。</p> <p>(5) 小中学生の地域防災の担い手としての育成について  (要旨) 平日の昼間に災害が発生した場合、働きに出られている方が多く、地域に残っている方のみで、救助作業をはじめ、あらゆることをしていかなければなりません。  そこで、小中学生の皆さんの力をお借りし、協力していただくことは、地域にとっても大変重要であり、効果的と考えますが、市の見解を問います。</p> <p>(6) EV（電気自動車）の活用について  (要旨) このテーマについては、昨年12月議会で提案をさせていただきましたが、その後の取り組み状況、さらには、国の指針を踏まえた今後の本市としての取り組み方針についてお答えください。</p>		
	<b>2 積極的にAI（人工知能）の導入をしないか</b>		
	<p>(1) 自治体としてのAIの導入について  (要旨) まず優先的にAIを待機児童対策に活用しないか。さらに、全体的に費用対効果も検証しつつ、他の業務にも優先順位をつけ、順次、積極的な導入を図っていかないか。</p>		

発言順位	14	議員名	坂口光男（自民党 真誠会）
発言事項	<p><b>1 「市民憲章」を制定する取り組みについて</b></p> <p>(1) 持続可能な「すべての人にやさしい、住みたい・住み続けたい、選ばれるまち明石」を目指していくための取り組みについて  (要旨) 本格的な少子高齢・人口減少時代が到来する中、本市は市制施行100周年を迎え、未来に向けさらに力強く市民とともに歩んでいくため、市民全体でどのようなまちにしていくかということとを共有できるよう、市民の努力目標を規定する「市民憲章」を制定することは効果的な取り組みであると考えているが、その認識を問う。</p> <p><b>2 最終年度となる「明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の検証結果と評価・成果について</b></p> <p>(1) トリプルスリーについて  (要旨) 本市は、市民にわかりやすい数値目標として、トリプルスリー（人口30万人、赤ちゃんの出生数3,000人／年、本の貸し出し冊数300万冊／年）を定めたが、結果はどうだったのか。</p> <p>(2) 明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終評価について  (要旨) 明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、4つの基本目標についての成果指標、それぞれの具体的な18の取り組みについてKPI（重要業績評価指標）を設定したが、個別及び全体の結果・評価について問う。</p> <p>(3) 次期「明石市長期総合計画」の戦略計画として位置づけする予定の「明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（第2期）の策定について  (要旨) 最終年度の結果・評価を踏まえ、2021年度からの次期計画策定に向けての課題、認識について問う。</p>		

発言順位	15	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p><b>1 フレイル予防で健康長寿のまちづくりを</b></p> <p>(1) 本市のフレイル予防の普及啓発について  (要旨) 高齢者が健康で暮らせるためにフレイル予防の普及啓発が重要と考えるが、本市の取り組みを聞く。</p> <p>(2) フレイル予防のためにフレイルチェックの実施を。  (要旨) 厚生労働省は、来年度から75歳以上の人を対象にフレイルチェックを行うことを自治体の努力義務としている。本市においても、高齢者が集う場所等でフレイルチェックを実施しないか。</p> <p>(3) 高齢者の健康維持のために運動型健康増進施設を設置しないか。  (要旨) 高齢者の健康維持のために、運動型健康増進施設を設置して健康長寿のまちづくりに取り組まないか。</p> <p><b>2 登録有形文化財「旧波門崎燈籠堂」の保存と周辺整備について</b></p> <p>(1) 登録有形文化財「旧波門崎燈籠堂」の保存について  (要旨) 「旧波門崎燈籠堂」は、現存する旧灯台のうち、日本最古の石造り灯台で、国の登録有形文化財にも指定されていることから、本市の貴重な文化遺産として保存に取り組まないか。</p> <p>(2) 明石港のシンボルである「旧波門崎燈籠堂」の周辺を整備し、観光資源としての活用を。  (要旨) 海の玄関口である明石港にある「旧波門崎燈籠堂」の周辺を整備して、観光資源として活用できないか。</p>		

発言順位	16	議員名	辰 巳 浩 司 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<b>1 明石港東外港地区の再整備と新庁舎整備について</b>		
	<p>(1) 明石港東外港地区再開発計画と新庁舎整備の関係について  (要旨) 明石港東外港地区再開発計画と新庁舎整備とのスケジュール調整等、関連性をお聞きします。</p> <p>(2) 現庁舎敷地にできる民間活用地について  (要旨) 新庁舎整備検討特別委員会の資料によると、新庁舎整備に伴い現敷地の西側に民間活用地ができる予定となっているが、当該地と県が進める明石港東外港地区の再開発との関係性をどのように考えているのか、お聞きします。</p> <p>(3) 明石港周辺から大蔵海岸への海岸線の将来像と回遊性について  (要旨) 明石港から市庁舎を経て大蔵海岸に至る海岸線は、中心市街地の南に位置する絶好のロケーションであり、高いポテンシャルを持ったゾーンである。今後、進められる新庁舎整備や明石港東外港地区の再開発は、絶好のチャンスと考えるが、市の考え方をお聞きします。</p>		
	<b>2 明石市の歴史文化遺産について</b>		
	<p>(1) 明石市の歴史文化遺産の活用について  (要旨) 織田家長屋門や天文科学館、中崎公会堂などの本市の歴史文化遺産を、今後のまちづくりに活かしつつ、観光資源としても有効に活用していくべきと考えるが、市の見解をお聞きします。</p>		

発言順位	17	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p><b>1 発達障害児支援について</b></p> <p>(1) 発達障害の早期発見について  (要旨) 発達障害は、早期発見・早期支援が重要である。本市の乳幼児健診における発達障害が疑われる子どもの早期発見に向けた取り組みを問う。</p> <p>(2) 発達障害児の乳幼児健診について  (要旨) 発達障害児は、集団での乳幼児健診が苦手な場合があるが、個別に配慮が必要な場合があるが、本市の取り組みを問う。</p> <p>(3) 発達障害児の受療環境について  (要旨) 発達障害児は、病院を受診しても円滑な診察や検査が困難な場合がある。発達障害児が安心して病院を受診できる受療環境の構築を支援する取り組みが必要だと思いが、本市の見解を問う。</p> <p>(4) 発達障害児の療育支援について  (要旨) 発達障害と診断される子どもの増加により、療育施設の受け入れ体制に余裕がない状態となっている。本市の発達障害児に対する療育の現状と受け皿拡大に向けての取り組みを問う。</p> <p><b>2 高齢運転者の事故防止施策について</b></p> <p>(1) 高齢運転者への後付け安全運転支援装置の設置補助について  (要旨) 兵庫県は、本年10月より高齢運転者に対し安全運転支援装置の設置費用を補助する制度を開始し、さらに上乗せ補助を実施している近隣自治体もある。本市も上乗せ補助の制度を創設してはどうか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 運転免許返納に伴う取り組みについて  (要旨) 本市は運転免許返納時に特典を付与する事業を実施しているが、その際の付加サービスとして、運転免許証に代わる身分証明書となるマイナンバーカード申請が円滑にできる制度を導入してはどうか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	18	議員名	石井 宏法 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p><b>1 市民夏まつり開催について</b></p> <p>(1) 行政主導の市民まつりの再開について  (要旨) 2001年の歩道橋事故以来開催されていない市民夏まつりについて、市民から再開の要望が多数ある。シビックプライドの醸成にもつながる重要な市民サービスである市民まつりを再開すべきと考えるが、本市の見解を問う。</p> <p><b>2 豊かな海づくりについて</b></p> <p>(1) 播磨灘流域別下水道整備総合計画の整備目標について  (要旨) 季節別運転の試行を位置付ける下水処理場となっている船上浄化センターの現状と今後の運転計画について、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 朝霧・大久保浄化センターについて  (要旨) 播磨灘流域別下水道整備総合計画で季節別運転実施の指定を受けていない朝霧・大久保浄化センターについても、豊かな海づくりのために、他の2つの浄化センター(二見・船上)と同様の取り組みが必要と考えるが、本市の見解を問う。</p> <p><b>3 小中学校における防災教育について</b></p> <p>(1) 地域特性に合わせた防災教育について  (要旨) 災害発生時の被害を少なくするためには、地域の特性を踏まえた教育が必要であると考え、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 防災に関する庁内の横断的連携について  (要旨) 地域特性に合わせてより実効性の高い教育を行うために、教育委員会と総合安全対策室との連携が必要であると考え、本市の見解を問う。</p> <p><b>4 インバウンド獲得のための観光施策について</b></p> <p>(1) ハラル認証の取得について  (要旨) 日本を訪れる海外からの観光客が増加している中、ムスリム(イスラム教徒)観光客にもやさしいまちづくりを行うべきだと考えるが、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	19	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<b>1 グリーンスローモビリティについて</b>		
	<p>(1) 実証調査の反響・感想等はどうだったのか。  (要旨) 10月30日から11月22日まで朝霧地域で実証調査を行ったが、地域の反響、実際に乗車された方の感想はどうだったのか。</p> <p>(2) 今後、市としてどう展開しようとしているのか。  (要旨) 他地域での実証調査等を含め、今後の本格運行へ向けて市の計画を聞く。</p> <p>(3) 実証調査の継続及び実施地域の拡充を検討すべきではないか。  (要旨) 明舞団地内道路、朝霧小学校北部の朝霧川上流地域の川沿いの道路、東野町中央を縦断する道路の3つの地域についても導入を求める声を聞いた。これらの地域にも導入すべきと考えるが、見解を聞く。</p> <p>(4) 調査地域への広報を工夫すべきではないか。  (要旨) 今回は、自治会の回覧を使って広報したが、実証調査を行ったことを知らない住民もいた。チラシを全戸配付することが最も望ましいと考えるが、できるだけ多くの人に周知した上で、実証調査ができるように工夫をしないか。</p>		
	<b>2 市役所新庁舎の設計について</b>		
	<p>(1) 受配電盤を高所に設置すべきと考えるがどうか。  (要旨) 地下もしくは1階に設置されている受配電盤が災害時に水没し、電気が使用できなくなる事例が発生している。高所に設置すべきだと考える。</p> <p>(2) 非常用大型タービン発電機を高所に設置すべきと考えるがどうか。  (要旨) 災害時の拠点にするためには、電力の確保が必須である。浄水場等に導入されている大型タービン発電機を高所に設置すべきだと考える。</p> <p>(3) 屋上設置の受水槽タンクを大型にすべきと考えるがどうか。  (要旨) 災害時の拠点にするためには、水も必要不可欠である。屋上に設置する受水槽のタンクを可能な限り大型にするべきであると考ええる。</p> <p>(4) 新庁舎に東部地域の福祉避難所を設置すべきだと考えるがどうか。  (要旨) 電気と水が確保された新庁舎になれば、障がいがある方にもやさしい庁舎になる。新庁舎内に市東部地域の福祉避難所を設置すべきだと考える。</p>		

発言順位	19	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p><b>3 市営住宅入居時の連帯保証人について</b></p> <p>(1) 市営住宅入居時に必要な連帯保証人を不要にできないか。  (要旨) 特に高齢になると、連帯保証人を確保するのは大変である。民間の住宅では、連帯保証人がいない場合、入居するのは困難である。公営住宅にも連帯保証人が必要ということになると、高齢者は住宅を借りることができなくなる。兵庫県では、来年度から県営住宅の連帯保証人を不要とする方針であると聞いている。本市も県に合わせて来年度から市営住宅入居に係る連帯保証人を不要にできないか。</p>		

発言順位	20	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 議案53号 附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定のことについて</p> <p>(1) 本市の長期総合計画の名称を「あかしSDGs推進計画」に変更する意図について</p> <p>(要旨) 名称を変更する意図、効果について見解を問う。長期総合計画の有する本来の目的等が変わることはないが、その真意を問う。</p>		

発言順位	21	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 戦争の惨禍を繰り返さないための平和行政について</b></p>		
	<p>(1) 一般財団法人太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会の代表理事就任について  (要旨) 代表理事に就任された経緯と市長の平和への思いを聞く。</p> <p>(2) 平和資料室の設置について  (要旨) 計画はどのようになっているのか。平和活動、戦争体験を後世に伝える活動を行っている市民団体の参画も必要だと考える。子どもたちに伝える工夫や、市民への周知はどのように行うのか。</p>		
	<p><b>2 子どもの貧困対策について</b></p> <p>(1) 消費税増税で負担が重くなった低所得者層に対する救済策が必要ではないか。  (要旨) 消費税が増税され、保育料が無償化されたが、低所得者層には、ほとんど恩恵がなく、増税が生活を圧迫している。子育て世帯の実態を把握するとともに、何らかの救済策が必要ではないか。</p> <p>(2) 医療費無料化を高校卒業までに拡充を。  (要旨) 本市の中学3年生までの医療費無料化は、他市にも大きく影響を与え、県下でも一気に広がった。さらに、高校卒業まで無料化や助成を行う自治体も10カ所になった。本市も高校卒業まで無料化の拡充を行ってはどうか。</p>		
<p><b>3 高齢者が安心して暮らせる明石市に</b></p>			
<p>(1) 特別養護老人ホームの待機者解消に向けて  (要旨) 特別養護老人ホームでは、入所待機者が多く出ている。地域密着型特別養護老人ホーム設置は、計画どおり進んでいるのか。進んでいない原因は何か。今後、第8期介護保険事業計画が策定されるが、待機者解消のためにどのように努力されるのか。</p> <p>(2) 特別障害者手当支給について  (要旨) 要介護4、5に認定された方が、日常生活で特別な介護を必要とするなど、4つの条件を満たせば特別障害者手当が支給されるが、要件に該当するにもかかわらず申請をしていない方が多いのではないか。</p>			

発言順位	21	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発 言 事 項	<p><b>4 LGBT（性的マイノリティー）施策について</b></p> <p>(1) パートナーシップ制度の導入について  (要旨) 渋谷区では、「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」を制定、文京区では、「文京区男女平等参画推進条例」において性的指向と性自認による差別禁止を明文化している。  市営住宅への入居など、公共サービスを受けられる制度も必要と考えるが、本市の方向性はどうか。</p> <p>(2) 企業等への啓発、また職場でのカミングアウトについてのサポート体制について  (要旨) 東京レインボープライドでは、企業、団体、行政などが一緒になって盛り上げていた。相談窓口の設置も必要だと考える。</p> <p>(3) 市民への啓発、学校教育の中での生徒への啓発について  (要旨) 性の多様性を学ぶ公開授業や、PTA事業として保護者と教職員が一緒に学ぶ勉強会、さらには、市民講座の開催も積極的に行っていくべきではないか。</p>		

発言順位	22	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p><b>1 災害対策について</b></p> <p>(1) 福祉避難所に対する取り組みについて  (要旨) 本市では、福祉避難所が2カ所と全小学校に福祉避難室が設置されているが、他の自治体では、医療的ケアも取り入れた福祉避難所が設けられている。  万一の大災害に備え、避難所設備や利用方法など、今後の取り組みについてお尋ねしたい。</p> <p>(2) 避難訓練について  (要旨) 本市では、2016年に発生した熊本地震をきっかけに、第2次福祉避難所として市内外の6法人8施設と協定を結んだ。万一の災害を想定し、障害当事者の安全確保のためにも、市内全ての地域で当事者参加型の避難訓練が必要と考える。避難訓練に対する今後の取り組みについてお尋ねしたい。</p> <p><b>2 インクルーシブ教育について</b></p> <p>(1) 難聴児に対する情報保障について  (要旨) 現在、市内の小学校で難聴学級が設けられているのは2校のみである。しかし、難聴学級がない小学校に通う難聴児もいる。現在、児童生徒に対する情報・コミュニケーション保障やサポートは、どのように取り組まれているのか。手話や文字情報によるサポートも必要と考える。  難聴学級も含めた現状と、誰一人取り残さない(仮称)あかしインクルーシブ条例を制定しようとしている本市の今後の取り組みについてお尋ねしたい。</p> <p>(2) 新生児における聴覚スクリーニング検査について  (要旨) 出生後すぐの新生児に対し、難聴の早期発見を目的に聴覚スクリーニング検査が行われている。その際、難聴が疑われる場合に人工内耳を勧めるだけではなく、手話など視覚的な言葉の習得が必要と考える。発見時の対応や、こども局と福祉局の連携について、実績などもお尋ねしたい。</p>		

発言順位	23	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 SNS等に起因する事犯による被害児童・生徒の状況について</b></p> <p>(1) 現状について (要旨) 本市における事犯の発生件数とその状況について問う。</p> <p>(2) 対策について (要旨) 有効な対策について見解を問う。</p> <p><b>2 明石市と西日本旅客鉄道株式会社との鉄道沿線のまちづくりに関する包括連携協定に基づく今後の取り組みについて</b></p> <p>(1) JR大久保駅－魚住駅間の大規模車両基地計画について (要旨) 市は、この計画を知っていたのか。周辺への影響と今後の進め方について市の認識を問う。</p> <p>(2) 今後予定される取り組みについて (要旨) この間の協議の中で明らかになっている事業等、具体的なものはあるかを問う。</p> <p>(3) 自治基本条例との整合性について (要旨) 包括連携協定第5条に規定されている守秘義務は、明石市自治基本条例の基本原則に反するものではないかと考える。市の見解を問う。</p> <p><b>3 生活保護行政について</b></p> <p>(1) 紛失した保護費約203万円について (要旨) この間の取り組みと今後の対応を問う。</p> <p>(2) 厚生労働省(社会・援護局保護課長)からの通知について (要旨) 通知を遵守し過去の不祥事を教訓とした対応が行われているか。</p> <p>(3) ケースワーカーの負担軽減について (要旨) ケースワーカーを大幅に増員し、担当する世帯を1人あたり80世帯以下とするべきと考える。</p> <p><b>4 市街化区域の農地転用について</b></p> <p>(1) 事務処理について (要旨) 適法に行われているか問う。</p> <p>(2) 紛争状態にあるもの、もしくは、その恐れがあるものに係る取り扱いについて (要旨) 認識を問う。</p>		

発言順位	23	議員名	辻本 達也（日本共産党）
発 言 事 項	<p><b>5 交通不便地域における移動手段の確保と充実について</b></p> <p>(1) グリーンスローモビリティについて  (要旨) 実証調査後の評価と今後の本格導入について見解を問う。</p> <p>(2) 市西部地域のたこバスの路線拡充について  (要旨) 大久保北部や魚住町金ヶ崎など、要望が出されている地域への路線拡充について見解を問う。</p> <p>(3) 市東部へのたこバス路線拡充について  (要旨) 本年3月議会で前向きな答弁があったが、その後どのように検討したか。今後の取り組みを進めるかどうかについて見解を問う。</p> <p><b>6 気候非常事態宣言について</b></p> <p>(1) 市の認識を問う。  (要旨) 他都市においては、すでに「気候非常事態宣言」を表明しているところがある。「SDGs 未来安心都市」を掲げる本市として必要な取り組みと考える。</p>		